
ニューズレター・JASESS No.98

社会・経済システム学会 2019年5月20日

■社会・経済システム学会第38回大会のご案内

第38回大会は、名古屋工業大学で開催されます。ふるってご参加ください。

大会テーマ：「意思決定と社会・経済システム」

開催日：2019年10月26日（土）・27日（日）

場所：名古屋工業大学 御器所キャンパス

大会実行委員長：兼田 敏之 会員 大会実行副委員長：徳丸 宜穂 会員

連絡先：〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 国立大学法人名古屋工業大学

おもひ領域 兼田敏之研究室内 社会・経済システム学会大会実行委員会

e-mail: kaneda@nitech.ac.jp

【大会テーマ趣旨説明文】

地球規模の人類の生産・消費活動が拡大する一方で、気象災害の頻発などの気候変動が生じている。また、情報技術革新がわれわれの生活世界にこれまでにない可能性をもたらしている。そのなかでの少子高齢化、さらには人口減少下での就労制度再整備など、社会・経済システムはいまやさまざまな課題に直面している。国際社会・国家・地域・都市といった公共圏のみならず、企業組織・コミュニティ・市民にいたるまで、その意思決定のあり方を再考する時期に差しかかっている。古くから社会科学における意思決定研究では *organized complexity* を扱ってきたこともあり、要素還元方法論の限界を見据えてのシステムの方法論が模索されてきた。そこでは意思決定主体は与えられた状況において、どのような原理・規範・合理性で、あるいはどのような実態で意思決定を行なうのかを問い、組織や社会の情報処理やコミュニケーションプロセスに着目し、その視点から個別の意思決定を統合するシステムとして組織や社会をいかにデザインしていくかという問いかけがなされてきた。

このような状況にあって、社会・経済システムという多主体系における意思決定に注目することで、これからの社会や経済について考えて行くことが期待されている。本学会は過去数年間に、「社会・経済システムの多様性と分断」、「人口減少と社会・経済システム」、「コンフリクトと社会・経済システム」、「デザインと社会・経済システム」などを大会テーマとして取り上げ、活発な議論を積み上げてきた。それらを踏まえ、さまざまな構成主体の私的・公的意思決定と社会・経済システムとの関係への理解を深めることは、本学会の今後の活動の展開において重要な鍵となると考える。

本大会では、企業システム、行政、地域、NPO を含む社会・経済システムについて、多様な観点からの理論的、実践的な研究発表と盛んな議論が行われることを期待する。

1. 報告をご希望の方は、所属機関・氏名・報告論題・報告要旨(400字～600字程度)等を **2019年6月20日(木) 必着**で、学会公式ウェブサイト「全国大会」ページの「第38回大会発表報告申込」にリンクしております。Googleフォームよりご応募ください。今回よりGoogleフォームを利用した投稿のみとなります。ご報告の採否は2019年7月末までに通知する予定です。
2. ご報告いただくことになった際には、**2019年9月15日(日) 必着**でA4版×**2枚ないし4枚(偶数枚のみ)**の報告要旨原稿をお願いすることになります。なお、報告要旨原稿の投稿までに、本年度の年会費を納入して頂くことが必要です。あらかじめご了承ください。

■学会誌『社会・経済システム』第38号・第39号・第40号について

第38号を発行し会員に郵送いたしました。第39号については刊行が大幅に遅れご迷惑をおかけしております。現在編集中で10月の2019年度大会時刊行を予定しておりますのでいましばらくお待ち願います。

第40号に掲載予定の第37回大会関連論文・一般論文につきまして、投稿を募集します。締切は2019年6月30日です。原稿は、下記アドレスにファイルをお送りください。

送信先：socsys_editors@@@cm.kansai-u.ac.jp、および、ttakase@@@kansai-u.ac.jp

(いずれも@を2つ削除)

なお、投稿に際しましては、学会公式ウェブサイトの「編集委員会からのお知らせ」も必ずご参照ください。

■第37回大会は好評裡に終了しました。

社会・経済システム学会第37回大会は、「21世紀の産業革命による社会・経済システムの変容」と題する大会テーマのもと、2018年10月27日(土)・28日(日)の両日、静岡大学浜松キャンパスで開催されました。

大会テーマのもと、両日にわたり分科会・企画シンポジウムにおいてそれぞれの報告者からこの分野における研究の最新動向について報告が行われるとともに、大会は盛況のうちに終了することができました。大会の開催に尽力されました静岡大学の李皓実行委員長をはじめとする大会実行委員の皆様のご尽力に深く感謝いたします。

■2019-20年度の体制について

2018年度大会時に開催された総会で、2019-2020年度の理事が選出され、会則に基づき、役員・機関誌編集委員・事務局運営委員が決まりました。会長は出口 弘先生(東京工業大学)、副会長および編集委員長は高瀬 武典先生(関西大学)です。また、関東支部長は田中 秀幸先生(東京大学)、関西支部長は喜多 一先生(京都大学)です。

学会事務局の設置場所を、2019年5月1日より変更しました。役員等および事務局体制の詳細は、学会公式ウェブサイトに掲載しています。

■2017 年度会計報告および 2018 年度予算

2018 年 10 月 27 日 (土) の総会で承認された 2017 年度決算と 2018 年度予算について、次のとおりご報告申し上げます。

社会・経済システム学会 2017 年度 会計報告

1. 収支決算書(2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日)

支 出		収 入	
通信費	81,257	会費	1,229,000
消耗品費	1,047	一般会員	(1,113,000)
アルバイト謝金	6,180	学生会員	(116,000)
大会運営費	408,583		
理事会費	30,200	利子	44
学会誌編集委員会費	88,152	三菱東京 UFJ 銀行(普通)	(19)
(財)日本学術協力財団分担金	50,000	ゆうちょ銀行(普通)	(25)
印刷費(学会誌第 37 号)	602,532		
HP システム保守費	64,800		
ドメイン使用料	53,978		
		学会誌バックナンバー販売	25,815
当期支出小計	1,386,729	当期収入小計	1,254,859
予備費	4,868,894	前期繰越金	5,000,764
合計	6,255,623	合計	6,255,623

2. 貸借対照表(2018 年 3 月 31 日現在)

借 方		貸 方	
現 金	1,000	次期繰越金	4,868,894
三菱東京 UFJ 銀行(普通)	1,872,923		
ゆうちょ銀行(普通)	2,994,971		
合計	4,868,894	合計	4,868,894

社会・経済システム学会 2018 年度 予算

予算(2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日)

支 出		収 入	
通信費	50,000	会費	1,240,000
消耗品費	5,000	一般会員	(1,120,000)
アルバイト謝金	10,000	学生会員	(120,000)
大会運営費	400,000	学会誌バックナンバー販売	20,000
理事会費	40,000		
学会誌編集委員会費	100,000		
(財)日本学術協力財団分担金	50,000		
印刷費(学会誌第 38, 39 号等)	1,200,000		
関東部会費	30,000		
関西部会費	30,000		
HP システム保守費	65,000		
当期支出小計	1,980,000	当期収入小計	1,260,000
予備費	4,148,894	前期繰越金	4,868,894
合計	6,128,894	合計	6,128,894

■新入会員紹介

次の方々の入会が2018年10月27日（土）の総会で承認されました（敬称略）。

	氏名	所属	専門分野	区分
1	オクムラ リュウイチ 奥村 隆一	三菱総研	労働政策、社会保障政策、 行政学	一般
2	オウ イアン 王 偉安	岡山大学大学院環境生命科学研究科	農業経済学	学生
3	ダ タイ ヒサン 駄田井 久	岡山大学	農業経済学	一般
4	ヒガシグチ ア キ コ 東口 阿希子	岡山大学	資源管理学	一般
5	アサクラ タカミチ 朝倉 隆道	富士通総研	社会学	一般
6	オガワ ヒロコ 小川 寛子	京都産業大学大学院（NPO 法人周話）	マネジメント	学生
7	カワムラ テツヤ 川村 哲也	光産業創成大学院大学	先端光産業経営	学生
8	ワタナベ イチロウ 渡部 一郎	東京大学大学院学際情報学府	社会情報学	学生
9	ヨシザワ ワタナベ サ ユ リ 吉澤（渡邊）小百合	星薬科大学	教育工学、英語教育	一般
10	エドモンド ホフ Edmund W. Hoff	青山学院大学	人類学	一般
11	ユウハン ヒロヤス 遊橋 裕泰	静岡大学	経営情報、マーケティング	一般

■会費納入のお願い

該当する会員の皆様には、本ニューズレターとともに、「年会費ご請求のお知らせ」と「会費納入の払込用紙」（ゆうちょ銀行）を同封しております。

2019年度も会費ご納入のほど、よろしくお願い申し上げます。

■変更届提出のお願い

ご住所、ご所属、その他、会員情報にご変更がございましたら、学会事務局（office@jasess.jp）までお知らせください。変更・入会・退会に関する手続きについては、学会公式ウェブサイトの <http://jasess.jp/a> からご覧になれます。

■シニア会員制度について

2017年度よりシニア会員制度が設けられました。一定の条件を満たす方は、理事会および総会の承認を受けることにより、一般会員の会員資格変更が可能になります。条件等につきましては、学会公式ウェブサイトの会則をご覧ください。2020年度からのシニア会員の申請希望者は、9月末までに学会事務局（office@jasess.jp）までお申込ください。